

50歳以上の方におすすめ

フレイル・サルコペニア健診

¥17,000(税別)

サルコペニアとは？

筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下している状態です。筋肉量が減少すると関節への負担がふえたり、転倒しやすくなり、寝たきりの原因にもなります。

高齢者のサルコペニア肥満も問題となっています。

フレイルとは？

加齢に伴い身体機能や認知機能の低下が見られる状態で、健康と要介護状態の中間的な状態です。

フレイル状態になると、死亡率の上昇や身体機能の低下が起きます。しかし、早期発見により、適切な支援を受ければ健常な状態に戻ることができます。

こんな方におすすめ!!

- ☐ 50歳を超えた方
- ☐ 最近、体重が減った方
- ☐ 疲れた感じがする方
- ☐ あまり運動しない方
- ☐ 歩く速度が遅い方
- ☐ 筋力が減ったと思う方

検査内容

・採血(骨代謝マーカー・ビタミンD等6種)

・骨密度測定(腰椎・大腿骨)

★体組成測定(体脂肪率や筋肉量の測定)

・握力測定(筋力の目安)

・歩行速度測定(筋力の目安)

・血圧脈波検査(動脈硬化の目安)

・AGE測定(糖化度測定)

・内臓脂肪面積(メタボリックシンドロームの判定)

新しい装置を導入しました

自立

多くの高齢者がフレイルを経て要介護になる

健康

(虚弱状態)
フレイル

要介護

加齢

死亡

骨粗鬆症対策

骨ドック

¥12,000(税別)

検査内容

・骨代謝マーカー(BAP/TRACP-5b)

・血清カルシウム・リン・ALP・ビタミンD

・骨密度測定(腰椎・大腿骨)

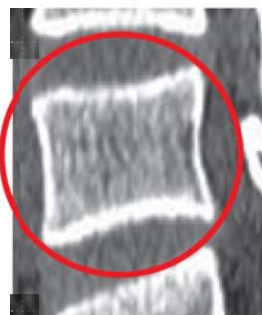
人の骨は古い骨が壊され、新しい骨が作られるという代謝を休みなく行っています。健康な方はこれらのバランスが維持されていますが、高齢になるとこの機能が崩れ、骨がもろくなり骨折しやすくなります。

その骨代謝を評価する指標として骨代謝マーカーがあります。これを測定することによって今後骨密度が減っていくことや骨折する危険性の予測ができます。

こんな方におすすめ!!

- ☐ 骨粗鬆症が疑われる方
- ☐ 閉経後の方
- ☐ あまり運動しない方、やせ気味の方
- ☐ 危険因子(喫煙・飲酒・骨折の家族歴)がある方
- ☐ 身長が縮んだ方
- ☐ 過去に骨折をされた方

腰椎レントゲン画像



↑健常者



↑骨粗鬆症による
腰椎圧迫骨折